令和７年度　第３回早池峰地域移入植物駆除に参加しました

令和７年８月９日（土）に行われた早池峰地域移入植物駆除に支署職員３名が参加しました。第１回は６月６日（金）にセイヨウタンポポとオオバコ駆除を目的として行われましたが、今回は、県道 25 号線の岳駐車場から笠詰キャンプ場までのオオハンゴウソウの駆除が目的です。

当日は、各機関、ボランティア団体など 28 名が参加し駆除を行ないました。

県南広域振興局保健福祉環境部から作業内容と注意事項の説明後、ビニール袋と鎌を持ち作業を始めました。

オオハンゴウソウ？どんな草？

原産地は北アメリカで、明治時代観賞用として持ち込まれました。７月～９月に黄色い花を咲かせます。草丈は１mから３mにもなり、繁殖力が強く、種と根で、条件がよいと急激に拡がり、在来の植物を妨げるなど、地域の植物の多様性が失われてしまいます。外来生物法で「特定外来生物」に指定されており、栽培や生きたままの植物の運搬は禁止されています。（罰則があります）

岳駐車場付近は、花が咲きすぐにわかりましたが、峰南荘に向かうにつれ、花が咲いていないため、どれがオオハンゴウソウなのかわからず、ボランティアで参加している人から、教えてもらい、１本片手に見比べながら鎌を使い、根を残さないように作業を行いました。

駆除したオオハンゴウソウは、ゴミ袋のまま、県南広域振興局職員に渡し、活動を終えました。

この日もとても暑い日でした。

（報告：森林技術指導官　尾留川）